

# LOP収入 スモールロジについて

※LOP=ロジスティクスオペレーション



作成者/ロジスティクス部（中島）

2023年2月

*Seino Super Express Logistics*

# AGENDA

- LOP収入とスモールロジとは(定義)
- LOP収入を創設した目的と背景
- LOP収入の拡大状況
- LOP収入を成長させるための施策(振り返り)

# LOP収入とスモールロジとは（定義）

## 【定義】

(1) LOP収入とは、元請けとしてロジスティクス提案を行うことで得た収入。

・クライアントの困り事から課題を抽出し、複数の輸送機能を組合せ、提案し獲得した収入

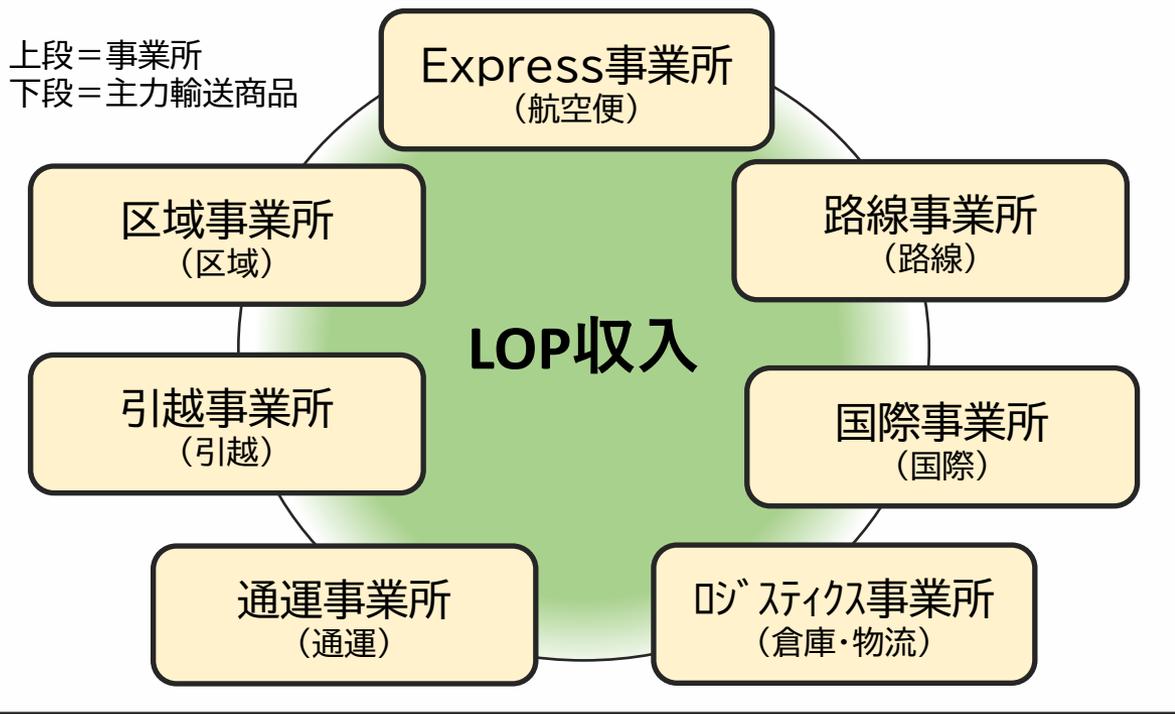
(2) LOP収入に該当するお客様は、月あたりの収入規模(30万円未満と以上)で、A-class、B-classに分け、B-class規模をスモールロジとする。

# LOP収入を創設した目的と背景

## 【目的】

「ロジのSSX」実現に向け、輸送商品のプロバイダー企業からロジスティクス提案企業へ変化するため。

各事業所間を横断的につなぐ収入イメージ



## 【背景】

各事業部、事業所は、主力輸送商品を拡大することに専念する傾向にあったが、1顧客の困り事を解決するには、現有の輸送商品をバルクで提案することが、全体効果が得られるため、その行動は、ロジスティクス提案を行うことが近道であり、事業所間に相乗効果を生むと考えた。

Seino Super Express Logistics

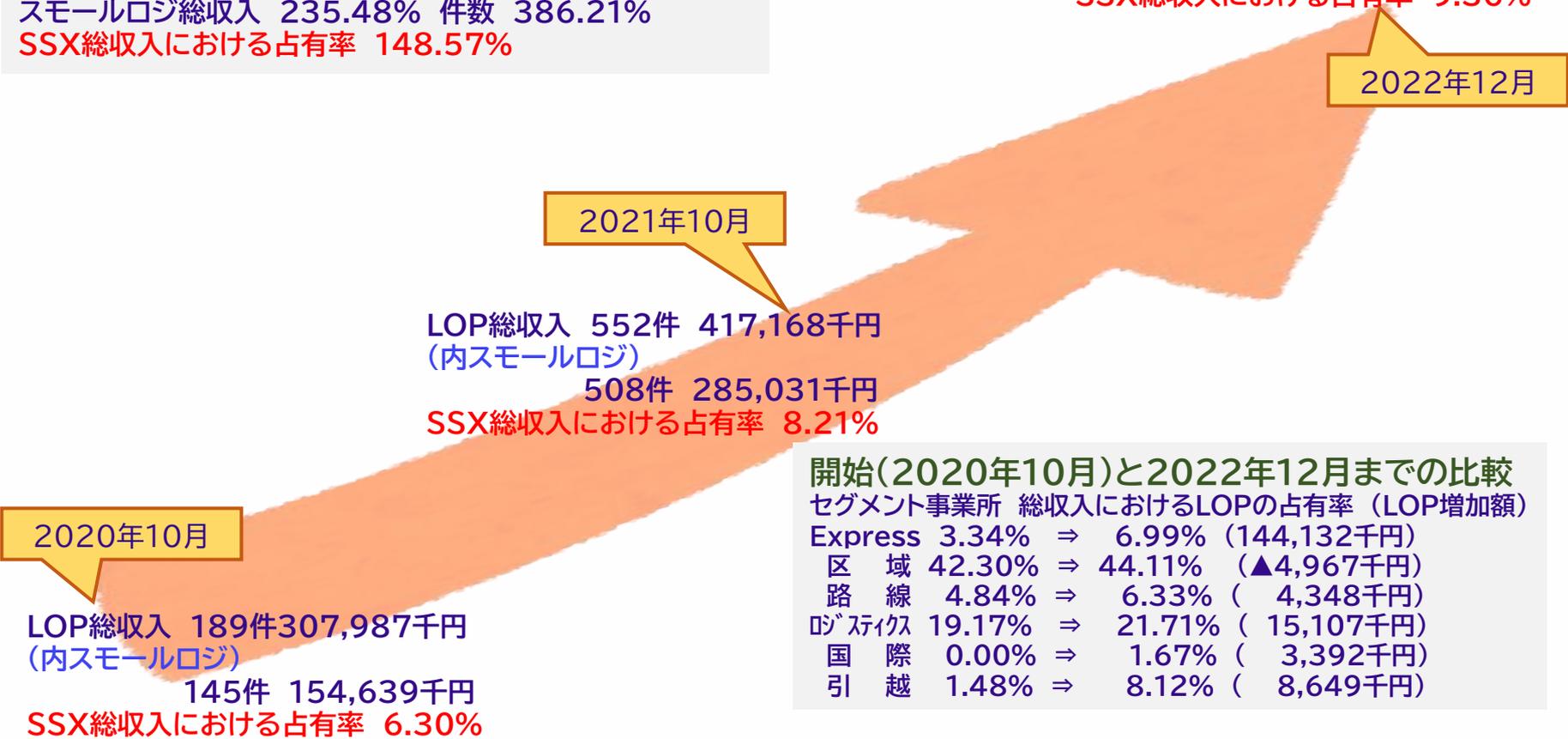
# LOP収入の拡大状況

※ 金額はすべて月当たり収入額

## 開始(2020年10月)と2022年12月までの比較

LOP総収入 155.41% 件数 315.87%  
 (内スモールロジ)  
 スモールロジ総収入 235.48% 件数 386.21%  
 SSX総収入における占有率 148.57%

LOP総収入 597件 478,648千円  
 (内スモールロジ)  
 560件 364,139千円  
 SSX総収入における占有率 9.36%



2020年10月

LOP総収入 189件307,987千円  
 (内スモールロジ)  
 145件 154,639千円  
 SSX総収入における占有率 6.30%

2021年10月

LOP総収入 552件 417,168千円  
 (内スモールロジ)  
 508件 285,031千円  
 SSX総収入における占有率 8.21%

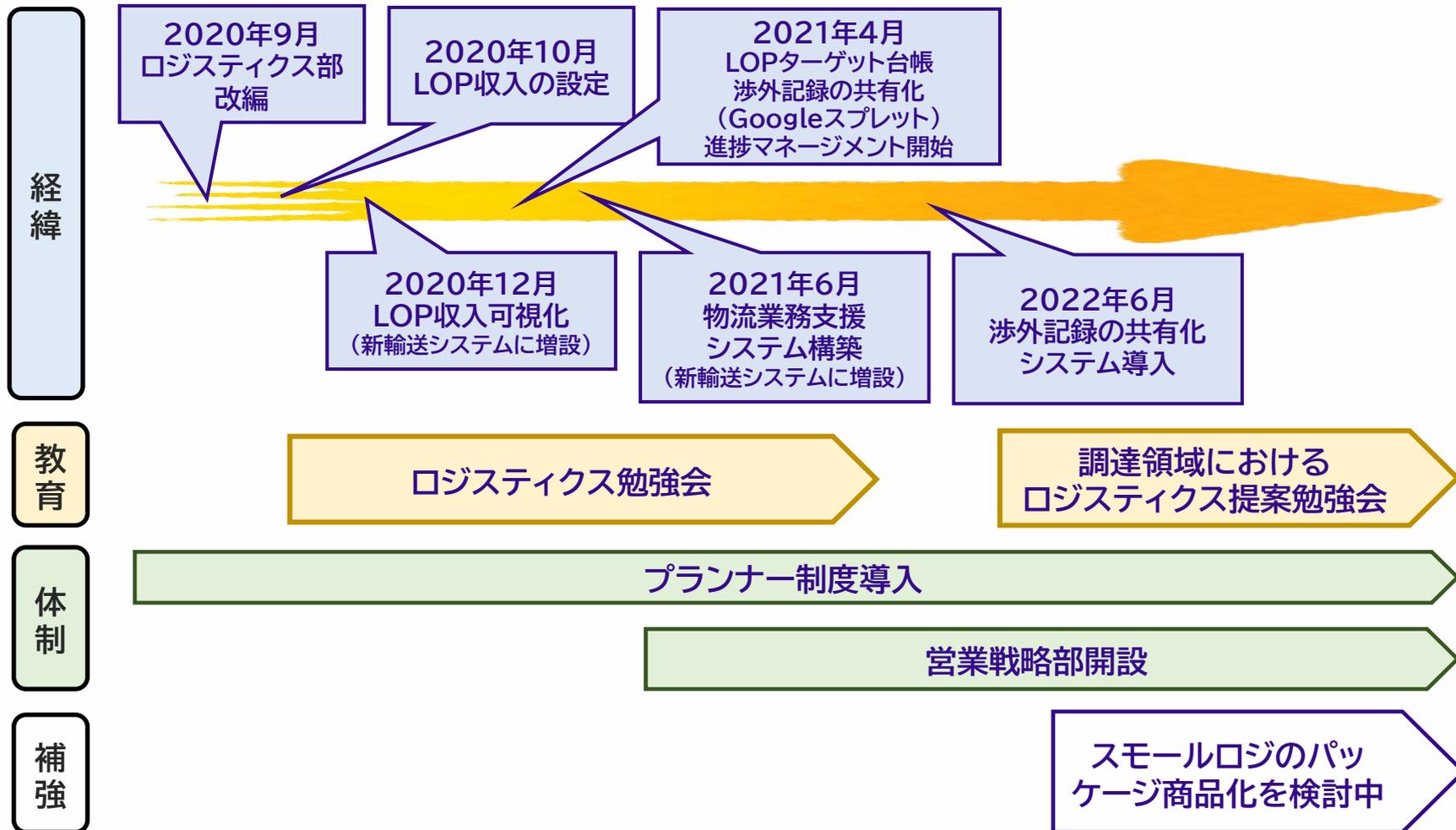
2022年12月

## 開始(2020年10月)と2022年12月までの比較 セグメント事業所 総収入におけるLOPの占有率 (LOP増加額)

Express	3.34%	⇒	6.99%	(144,132千円)
区域	42.30%	⇒	44.11%	(▲4,967千円)
路線	4.84%	⇒	6.33%	( 4,348千円)
デジタル	19.17%	⇒	21.71%	( 15,107千円)
国際	0.00%	⇒	1.67%	( 3,392千円)
引越	1.48%	⇒	8.12%	( 8,649千円)

Seino Super Express Logistics

# LOP収入を成長させるための施策（振り返り）



Seino Super Express Logistics

# 成功事例 中四国エリア 米子航空営業所

## 獲得経緯

全国の中学校で教材として使用する『Kism』※技術木工キットを制作している企業。  
これまで製材から輸送引渡しまで自社対応してきたが、受注量の拡大を受け増産を検討。  
⇒物流加工から配送までのアウトソースを提案した。

## 受託業務内容

不良品仕分け作業：製材品（3種類）の選別作業（良品・不良品）  
セット組：1セット＝大×6、中×4、小×4 ※輸丁ム止め⇒箱詰作業（名札+説明書+接着材）  
⇒梱包作業をし配送指示に合わせてお届けする。

## お客様の課題

急な受注拡大により、作業員とスペースが不足した。  
設備投資がすぐに出来ない。  
⇒増産に人材を集中し、受注拡大に対応する。

## 提案内容

一連の業務（輸送・付帯作業）をアウトソースする。

【ポイント】

## 提案効果

（顧客側）

急な受注拡大に対応出来た。  
本来の家具製造業へ専念する事が出来た。  
物流加工に関わることを変動費化することで、設備投資の必要が無くなった。

事業所内を整理し、  
作業・一時保管スペースを確保した。(20㎡)

①保管状況



②加工/荷姿



Seino Super Express Logistics

**End of Files**